

中野区立小中学校におけるICTの活用に向けた今後の取り組みについて

国が推進する「GIGAスクール構想の実現」は、児童生徒向け1人1台の端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に一人ひとりの創造性を育む教育を、全国の学校現場で実現させるというものである。

この構想を実現するために、国は当初、令和5年度までに順次整備していくとしていたが、新型コロナウイルス感染症対策による学校休業時においても、子どもたちの学びを保障できる環境を早期実現するために「GIGAスクール構想」を加速し、早期の「1人1台端末」の実現などを目ざした補正予算が組まれたところである。

こうした国の動きを受けて東京都からも、「GIGAスクール構想の実現」に向け、積極的に推進するよう通知があったところであり、区においても、今後、以下のとおり取り組むこととする。

1 ICT活用の進め方について

中野区においては、学習用端末をすでに各小学校に40台、各中学校に80台、及び教職員全員に配置している。今後の配置及び校内ネットワークの整備として、今年度中に中野区教育情報化推進計画(以下「計画」とする。)を策定し取り組むこととしていたところである。

国の「GIGAスクール構想」では、児童・生徒「1人1台端末」の整備を進めていくためには、計画の中で、児童・生徒「1人1台端末」を活用したICT環境の整備計画等が明らかにされていることが必須である。

このことから、今年度策定する区の計画と並行して、国・都の財政支援を受けるのに必要な範囲でICT活用の考え方をまとめ、校内ネットワーク及び「1人1台端末」の早期実現を図る。

2 計画の概要

計画の主な項目等は次のとおり。

(1) ICT活用計画及び達成状況を踏まえたフォローアップ計画

- ① 端末整備に応じた教育活動での活用状況の向上
- ② 授業準備や指導の効率化による教員の負担軽減と「働き方改革」
- ③ 活用状況にあわせた研修等フォローアップの実施

(2) 通信ネットワーク整備計画

- ① 児童・生徒の端末一斉使用への対応
「校内LAN」の更新及びアクセスポイントの増設
- ② 「学習系ネットワーク」の再構築
高速化、民間クラウドサービスを活用した情報共有

③研修、進路・生活指導等校務事務の円滑化・効率化

「校務外部接続系ネットワーク」の構築

(3) 学習者用コンピュータ配備計画

児童生徒1人1台端末を実現するために、「公立学校情報機器整備費補助金」を活用して令和2年度中に約14,500台を整備

4 計画等の策定スケジュール

- ・令和2年9月 施設整備及び端末調達契約
- ・令和2年11月 計画(案)策定
- ・令和3年3月 計画策定

5 その他

区は、新型コロナウイルス感染症対策による学校休業時等における在宅学習を支援するために、家庭でのICT環境が整っていない中学3年生から順次、令和2年5月末からモバイルルーターと端末を貸与し、児童・生徒の家庭学習の充実に向けた環境を整備しているところであり、この取り組みによる課題を、本計画に反映させることとする。